

産地生産基盤パワーアップ事業

もうかるブランド推進課

産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）

＜「大津松茂農業協同組合」のかんしょ集出荷施設の整備概要＞

1 産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上対策）について

高収益作物・栽培体系への産地転換を図るため、水田・畑作・野菜・果樹等の園芸品目を対象に、産地自らが販売額の10%以上の増加、生産・出荷コストの10%以上の削減などを目標とする「産地パワーアップ計画」を策定し、収益力強化へ計画的に取り組むための施設・機械整備を支援する。

※対象施設等及び補助率

生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設等の共同利用施設の整備や資材導入等

補助率 1 / 2 以内等

2 事業の概要

（1）事業実施主体

大津松茂農業協同組合（代表理事組合長：佐々木伸夫 所在地：鳴門市大津町）

（2）目的

鳴門市大津地区の集出荷施設においては、7月から9月にかけてかんしょの共同選果を行っており、品質の統一による高単価での販売や、生産者の出荷労力軽減の効果を上げており、10月以降も共同選果の利用が求められているが、だいこんの集荷と重なり、共同選果スペースの確保が困難な状況となっている。

そこで、共同選果の拡充による産地強化を図るため、既存施設の隣接地に共同選果を行う集出荷施設を増設整備してかんしょの共同選果期間を12月まで延長し、共同選果量の増加と生産者の選果に係る労働時間の削減を進め、生産性・品質の向上につなげる。

3 取組の概要

（単位：千円）

施設区分	補助率	事業費	補助金
集出荷貯蔵施設	1 / 2 以内	176,000	80,000

4 施設の概要

（1）集出荷貯蔵施設：建物1棟（1,259.7㎡）、全自動製函機1台

（2）対象品目：かんしょ

（3）設置場所：鳴門市大津町徳長字東ノ越

5 成果目標（目標年度：令和4年度）

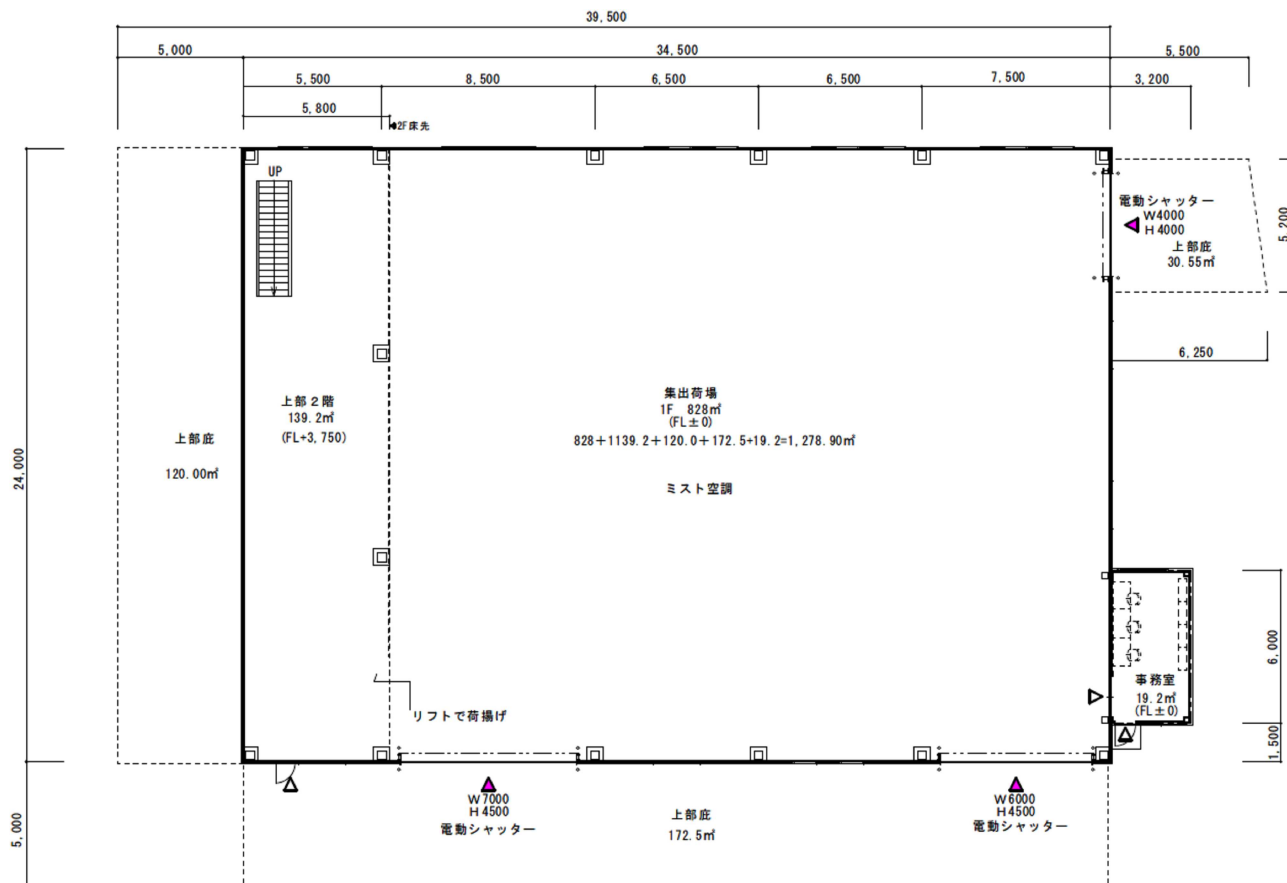
販売額の増加

現状 473,904千円 → 目標 563,905千円

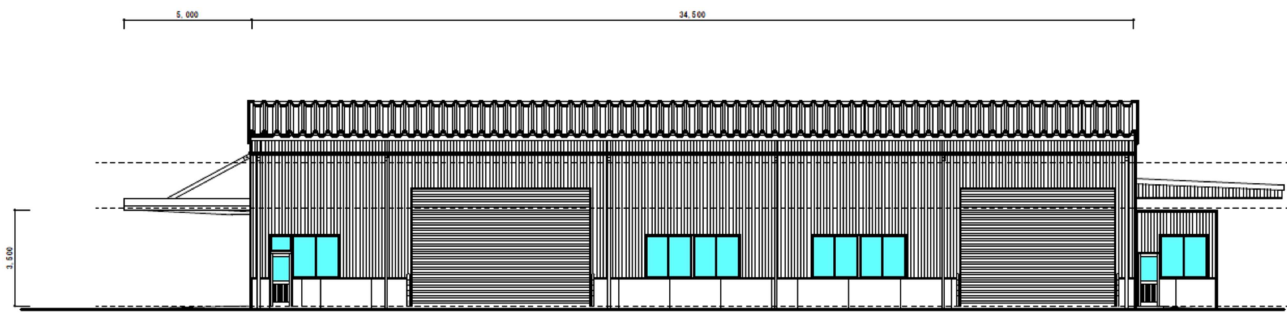
○位置図



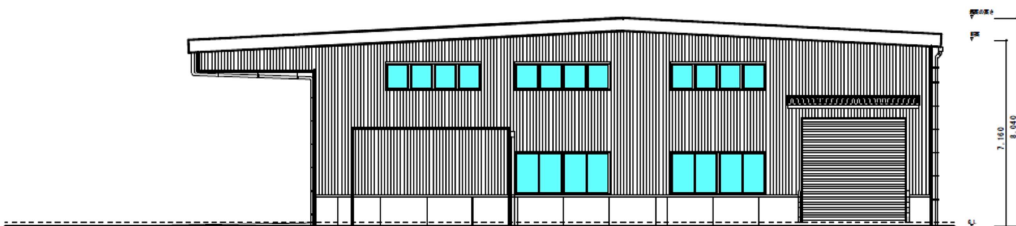
○施設平面図



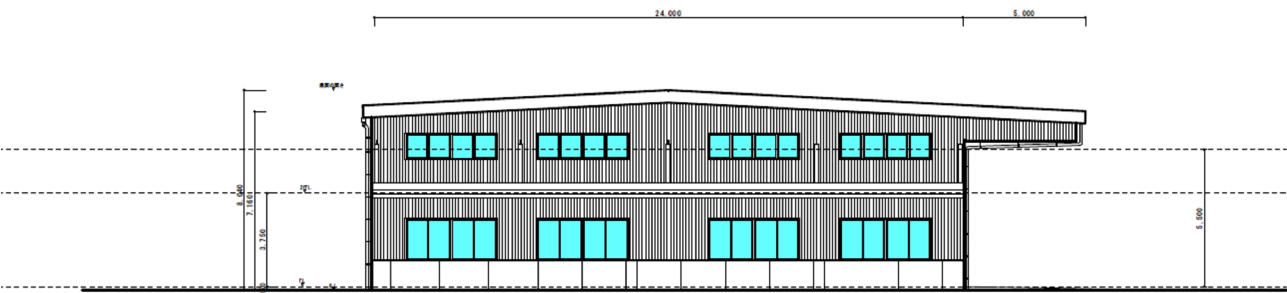
○施設立面図



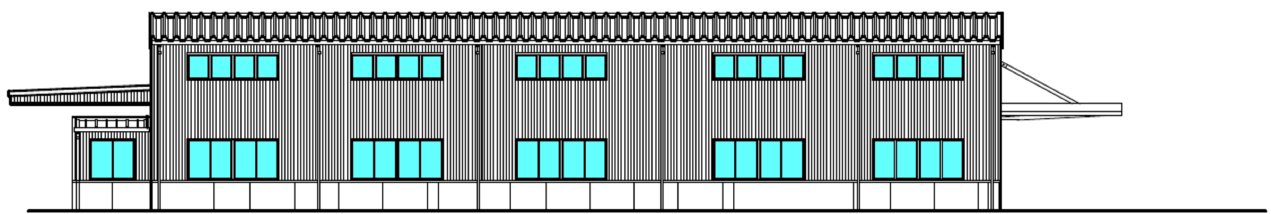
南立面図



東立面図



西立面図



北立面図